

2021年度防災・日本再生シンポジウム開催のご挨拶

「地域と国の発展を支え、世界をリードする国立大学！！」



一般社団法人 国立大学協会
会長 永田 恭介(筑波大学長)

2021年度防災・日本再生シンポジウムの開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

日本の国立大学は、2004年度の法人化以来、優れた教育や特色ある研究を行うなど個性豊かで魅力ある大学になるよう各大学が工夫を凝らし、成果を上げてまいりました。そして、経済基盤や社会構造の激変に直面するコロナ新時代においても、国立大学は個々に、また総体として有する多様な学術知や、これまでの「知の資産」を結集し提供することで、SDGsの実現、グリーン・リカバリー、カーボンニュートラルの推進をはじめとする地球規模の課題の解決、災害や感染症等に対応する高度にレジリエントで持続可能な社会の構築への貢献、そして地域で活躍する人材の育成や新たな産業創出などの地方創生の中核としての役割を担います。

「防災・日本再生シンポジウム」は、その一つとして、3.11 東日本大震災を契機に2011年度から、震災等の大規模災害による未曾有の危機を克服し日本の再生に貢献するため、国立大学協会がその経費や広報の一部を支援して開催されてきたものです。このような機会を通して、参加者の皆様からのご意見を受け止め、防災を含めて地域貢献にかかわる国立大学の教育・研究の一層の発展に努めていくとともに、地域で防災にかかわる活動をしておられる住民の方々、地元の自治体、政財界との方々とのより緊密な連携が強化されることを期待しております。

なお、当協会は2010年度から、10月および11月の2か月間を「国立大学フェスタ」と銘打ち、各国立大学が地域と連携しながら実施するシンポジウム、オープンキャンパス、公開講座、市民講座などの様々な活動を集中的に皆様方に紹介しております。「防災・日本再生シンポジウム」もこの「国立大学フェスタ」の一環です。こうした活動を展開することにより、国立大学の今を地域、社会、産業界等、広く国民の皆様にご理解いただけるよう努力してまいります。

本日の防災・日本再生シンポジウムは開催大学のご尽力により魅力ある内容となりました。本シンポジウムが参加された皆様にとって意義あるものとなりますことを祈念して、ご挨拶とさせていただきます。